

氏名	森 惠子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3792 号
学位授与の日付	平成 21 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Differences in Psychological Factors affecting Habits of Physical Activity between Genders and Generations (習慣的身体活動に及ぼす心理的要因の性及び年代による違いについて)
論文審査委員	教授 土居 弘幸 教授 栗屋 剛 准教授 氏家 寛

学位論文内容の要旨

本研究は、行動変容のトランスセオレティカル・モデルと米国疾病予防センターと米国スポーツ医学会で示されている身体活動基準を用い、壮・中年男女の身体活動状況を把握し、継続的な身体活動に影響する心理的因子を検討し、身体活動習慣者を増やすために心理的要因に配慮した指導上の留意点を検討することを目的にした。岡山県久世町在住の壮年期 25～44 歳の 375 名（男 175 名、女 200 名）と中年期 45 歳～64 歳の 557 名（男 247 名、女 310 名）を対象に身体活動習慣等に関する質問紙調査を行った。自己効力感については、壮年男性は関心期と準備期の間、中年男性と壮年女性は無関心期と関心期の間、中年女性は無関心期と関心期の間と行動期と維持期の間には有意な差がある等壮・中年期の地域住民には性と年代によって身体活動に及ぼす心理的要因の違いが認められた。この情報は、地域において身体活動習慣者を増やす取り組みを実施する健康づくりの専門家にとって有用であると考えられる。

論文審査結果の要旨

中壮年層の運動習慣を検討し、運動に関する心理的要因を明らかにし、運動する人の割合を増やすことに資するフィールド研究である。

先行研究によって明らかとなった運動行動の変容について、実際に収集したデータを典型的な分類モデルにあてはめ、他の分類モデルの別の理論で、調査によって得た分類データの分析を行った。

本研究によって、運動習慣に関する心理的分析が、実際の運動行動とマッチしていることが明らかとなった。さらに研究を深める予定であり、介入研究により行動変容の効果を立証することで、今後の研究の発展が期待される。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。

審査概要:

論文に使用している語句のターミノロジーについて、検討の余地がある。本件については、研究内容との整合を取るため、タイトルの修正を条件とする。